

- 岡山県庁 災害対策本部、DMAT調整本部
- 岡山済生会総合病院 DMAT活動拠点本部・参集拠点本部
- 倉敷中央病院 DMAT活動拠点本部
- 津山中央病院 DMAT活動拠点本部
- 高梁中央病院 DMAT活動拠点本部
- 道口PA(上り) DMAT参集拠点本部
- 落合病院 DMAT参集拠点本部
- 岡山市消防教育 土砂災害によるバスの横転事故を想定した救護所訓練

主な訓練実施場所



岡山市消防教育訓練センター

翌26日(日)は、各地で行われた訓練の検証会が行われ、落合病院参集拠点の活動報告を行いました。



新年のご挨拶
新年あけましておめでとうございます。
昨年中は皆様方に大変お世話になりました。ありがとうございました。
落合病院をはじめ、医療法人井口会の各施設の運営、活動にご理解・ご協力、そしてご支援を賜りまして心より感謝しております。

昨年は世界各地で戦争・紛争や災害が起り、物価の高騰、増税減税の話題、政治問題など様々な出来事がありました。医療機関においてはやはり新型コロナウイルスに振り回される1年でした。以前と比較すると重症化率は減っているものの感染者数は増加しています。当院でも感染対策を緩和することが出来ず日々の制限をせざるを得ませんでした。受診された方々や入院された方々、ご家族や関係者の方々には大変ご迷惑をお掛けしましたがご理解いただきたいと思います。

今後、感染状況に合わせて制限の緩和ができるよう工夫、対応をしていきたいと考えております。医療・介護・福祉など社会保障に関する環境は日々目まぐるしく変化し、患者さんやご家族のみならず、行政や医療者側においても大変に厳しいものとなつてきています。特に新型コロナウイルスの蔓延は大変に大きな負担となつております。社会全体が苦境に立たされることは実感しています。加えて物価の上昇、光熱費の上昇などがさらに状況を厳しいものにしています。このような状況ではありますが、私達は地域の方々の生活や健康を守るお手伝いをし、少しでもお役に立てるよう尽力してまいります。

初代理事長の井口與志子が落合に赴任してきたのが昭和12年です。以来長期にわたり医業を継続してこられたのはひとえに地域の方々から温かく見守っていたおかげで育ててくださいました。落合病院、向陽台病院をはじめとして法人施設が一体となり、今まで以上に施設間の連携を緊密にし、新しい組織に進化して皆様のご期待に応えるよう努力してまいります。

本年も落合病院、関連施設のご支援を賜りますようよろしくお願ひいたします。

令和六年一月一日
医療法人社団井口会 総合病院 落合病院 院長
井口 大助

落合病院
TOPIC

2年間の研究成果を発表



昨年11月28日(火)第34回となる院内看護研究発表会を開催しました。新見公立大学看護学科の山本智恵子先生を講師にお招きし、腎センターより「透析患者の口腔に関するスタッフの意識調査」を基に口腔チェックアルゴリズムを作成を試みて、「西病棟より「新人看護師がシヨンツールの作成を試みて」の2席の研究発表がありました。発表後には活発な質疑応答があり、講師より先行文献にもない独創的な取り組みであるとして、学会発表につなげるようとのご助言もらいました。看護研究は取り組む大変さもありますが、その成果は患者様に還元することができます。今後も看護の質向上のために継続していきたいと思います。

落合病院ニュース

中国地区DMAT実働訓練

に参加しました。

昨年11月25日(土)に中国5県の災害派遣医療チーム「DMAT」(ディーマット:医師、看護師、業務調整員で構成される5名程度のチーム)による合同訓練が岡山県で開催されました。2018年の西日本豪雨を念頭に、台風による浸水や土砂災害によって多くの負傷者が出了との想定で、DMAT60チーム約300人を含め、他の医療チーム、行政、消防、警察、自衛隊、関係機関や団体など計約500人が参加した大きな訓練でした。

岡山県では大規模な災害が発生すると、県内各医療圏の災害拠点病院内にDMATの活動拠点本部が設置されます。県内外から参集したDMATはそれらの各活動拠点本部に振り分けられ、それぞれの圏域で被害状況調査や病院支援、救護所運営などの活動を行います。

今回の訓練では、津山・英田医療圏の津山中央病院、高梁・新見医療圏の高梁中央病院、県南東部医療圏の岡山済生会総合病院、県南西部医療圏の倉敷中央病院にDMAT活動拠点本部が設置され、県内各地で訓練が行われました。

落合病院 DMAT 1

落合病院は、米子道・中国道・岡山道が交差する立地条件から、参集してくる県外DMATの参集拠点に指定され、集まったDMATを各活動拠点本部へ振り分ける役割を担いました。

井口大助院長がリーダーとなり、当院会議室に本部を立ち上げ、衛星電話で通信を確立、県庁の本部と連携しながら、到着したDMATを津山中央病院などに振り分けました。



ルートの説明

落合病院 DMAT 2

井口泰孝副院長をリーダーとするチームは、高梁中央病院の活動拠点本部から高梁・新見医療圏の病院調査に実際に向かいました。



高梁中央病院

鳥取DMAT到着



その後は、津山中央病院の活動拠点本部で、津山・英田医療圏の病院支援、避難所調査などの訓練を行いました。

津山中央病院
ヘリポート

倉敷中央病院

